

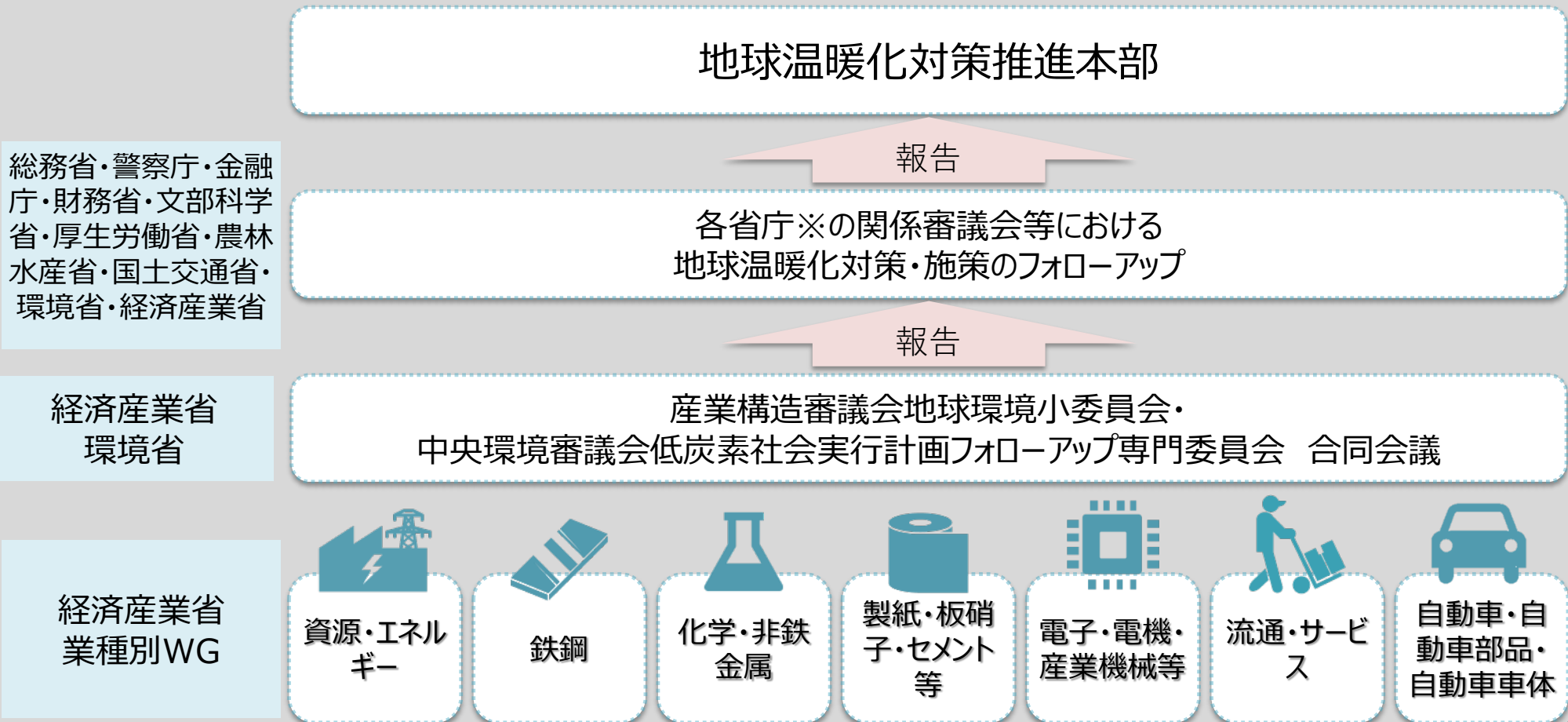
# 低炭素社会実行計画の 政府でのフォローアップ会合における 評価及び改善点

令和3年4月26日

産業技術環境局 環境経済室

# 政府による毎年度のフォローアップ

- 2016年5月に閣議決定された「地球温暖化対策計画」では、「産業界の中心的役割として引き続き事業者による自主的取組を進める」こととしており、政府は「各業種により策定された低炭素社会実行計画及び2030年に向けた低炭素社会実行計画に基づいて実施する取組について、関係審議会等による厳格かつ定期的な評価・検証を実施する」としている。
- 政府全体で、フォローアップを毎年度実施。各省庁の関係審議会等を経て、最終的に内閣総理大臣を本部長とする地球温暖化対策推進本部においてとりまとめている。



# 低炭素社会実行計画の評価・検証の実施

- 経済産業省所管41業種については、産業構造審議会産業技術環境分科会地球環境小委員会の7つの業種別WG（大学や研究機関等の有識者委員により構成）、環境省所管3業種については、中央環境審議会地球環境部会低炭素社会実行計画フォローアップ専門委員会において評価・検証を実施。なお産構審と中環審相互に2名程度の委員が参加。
- 更に、WGの上位機関である「産業構造審議会地球環境小委員会・中央環境審議会低炭素社会実行計画フォローアップ専門委員会合同会議」に審議結果を報告し、低炭素社会実行計画の評価・検証の結果及び今後の課題等を整理することとしている。

## （参考）2020年度評価・検証のスケジュール

### 業種別WG

資源・エネルギーWG【座長：秋元 圭吾 地球環境産業技術研究機構システム研究グループリーダー】	2020年 12月 7日
製紙・板硝子・セメント等WG【座長：秋元 孝之 芝浦工業大学建築学部建築学科教授】	2020年 12月16日
電子・電機・産業機械等WG【座長：秋元 圭吾 地球環境産業技術研究機構システム研究グループリーダー】	2021年 1月21日
化学・非鉄金属WG【座長：松方 正彦 早稲田大学理工学術院先進理工学研究科応用化学専攻教授】	2021年 1月26日
自動車・自動車部品・自動車車体WG【座長：伊坪 徳宏 東京都市大学環境学部教授】	2021年 1月28日
鉄鋼WG【座長：秋元 圭吾 地球環境産業技術研究機構システム研究グループリーダー】	2021年 2月 8日
流通・サービスWG【座長：鶴崎 敬大 住環境計画研究所研究所長】	2021年 2月17日

### 合同会議

低炭素社会実行計画フォローアップ専門委員会【座長：大塚 直 早稲田大学大学院法務研究科・法学部教授】	2021年 3月1・2日
--	--------------

# (参考)地球温暖化対策計画での位置づけ

- 低炭素社会実行計画は、地球温暖化対策計画(平成28年5月13日閣議決定)で「部門別(産業・民生・運輸)の対策・施策」として位置づけ。

## 第3章 目標達成のための対策・施策

### 第2節 地球温暖化対策・施策

#### 1. 温室効果ガスの排出削減、吸収等に関する対策・施策

##### (1) 温室効果ガスの排出削減、吸収等に関する対策・施策

##### 部門別(産業・民生・運輸等)の対策・施策

##### (a) 産業界における自主的取組の推進

#### 低炭素社会実行計画の着実な実施と評価・検証

日本経済団体連合会(以下「経団連」という。)をはじめとする産業界は、主体的に温室効果ガス排出削減計画(以下これら個別業種単位の2012年度までの計画を「自主行動計画」という。)を策定して排出削減に取り組み、これまで高い成果を上げてきた。京都議定書目標達成計画における自主行動計画での削減取組とその評価・検証結果を踏まえ、地球温暖化対策計画における削減目標の達成に向けて排出削減の着実な実施を図るため、**産業界における対策の中心的役割**として引き続き事業者による自主的取組を進めることとする。

# 業種別WG等での低炭素社会実行計画の評価・検証結果

## <総論>

- 自主的取組により、多くの業種において経済性を維持しながら順調にCO<sub>2</sub>を削減。
- 産業界の積極的な温暖化対策への寄与が、国内外へ発信・アピール出来ている。
- 2050年CNという目標に向けて、本実行計画そのものの大胆な見直しも、という声もあり。

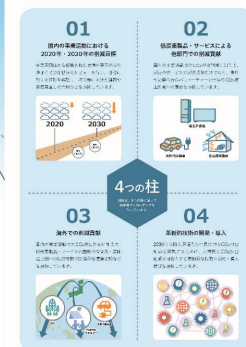
## WG委員のコメント

- 徐々に革新的技術やイノベーションの定量的評価、製品、海外貢献の定量化が全体として進んできたと思う。
- いずれの工業会もCO<sub>2</sub>削減の検討が進み、目標を前倒しで達成。**自主的な取組によるCO<sub>2</sub>削減は順調に進んでいる。**
- 数年前に比べると、各事業者・業界ホームページは非常に**分かりやすく、情報が整理・提供**されている。国民の理解と、そこから行動につながる情報提供をお願いしたい。
- 日本だけでなく、海外でのアピールを続けていただきたい。今後、様々な国がカーボンニュートラルに向けて進める中で、国際比較や、どこまで貢献しているか、**今後のビジネスチャンスに向けても非常に重要な情報**になる。
- 2050年に向けて大変大きな目標ができた。恐らく相当なプロセス総取替えに近いことになるだろうと思う。今年はコロナや50年度目標も出て環境が随分変わり、来年は全体の**実行計画自体も含めて相当大胆な衣替えがあってもいいのではないか。**

パンフレット（日・英）

産業界の自主的取組HP

[https://www.meti.go.jp/policy/energy\\_environment/kankyuu\\_keizai/va/index.html](https://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/kankyuu_keizai/va/index.html)



# 制度の更なる実効力強化に向けた論点例①

## ◇ 低炭素社会実行計画の2030年度目標設定と政府の2030年目標との整合性

- ・ 自主的目標を尊重しつつ、政府目標への各業界の貢献状況の見せ方
- ・ 共通指標として、2013年度比のCO<sub>2</sub>排出削減率の統一的な見せ方
- ・ 2050年のあるべき姿を見据えた2030年度目標の設定

## WG委員のコメント

- **経済界全体での貢献の見える化**を求められている。**統一的な見せ方**について少しずつ調整を進めて欲しい。前向きな評価に繋がるのではないかな。
- 原単位の目標は省エネ努力を反映する指標だが、生産量が減ると原単位が悪化する可能性もある。総量目標は世界で今世紀後半に実質ゼロを目指すパリ協定の長期目標に貢献しようというような意欲を表現できるという点でも、総量目標がいいのではないかなと思う。**30年目標において原単位と総量をどのように考えるか。**
- エネルギー原単位では経済影響の影響が大きい。**2020年の実績評価でコロナ影響をどのように扱うか課題。**
- **CO<sub>2</sub>排出削減率の統一化は必要**だと思う。各業界の事情でBAUは有効だが、**各業界での基準年が異なるので外からの評価が難しい。**
- 短期の状況を見ながら2030年どういう設定がいいのか考えていくと同時に、長期の**2050年カーボンニュートラル**といった**政府の掲げる目標との整合性の中で、2030年目標をどのように見直すのか見直さないのか**検討をお願いしたい。
- **2050年カーボンニュートラルに向けて、2030年目標をそれに整合した形で**つくっていただきたい。
- 2050年のカーボンニュートラルに向けて革新的な取組、生産改革が必要とエールがあった。**2030年についてもその視点からの見直しの指摘があった。**

# 制度の更なる実効力強化に向けた論点例②

## ◇ 中小企業も含めた、業界内カバー率※の引上げ

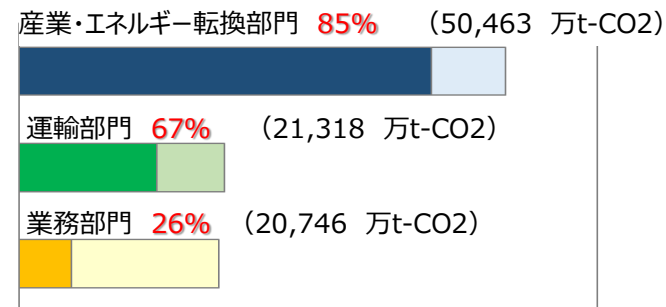
- ・ 中小規模事業者の多い業務部門の取組促進が必要

※各部門総排出量に占める、計画策定業種の排出量割合

### WG委員のコメント

- TCFD やESG といったトレンドがあるが、**業界の中で中小企業をどのように巻き込んでいくか**。規模の小さい企業においても、業界とし一層の取組への注力をお願いしたい。

### <各部門のカバー率>



## ◇ 低炭素社会実行計画に参画するインセンティブ

- ・ 取組への表彰、ロゴマークの導入や認定制度の活用など、計画参加へのインセンティブを高める取り組みを進めている業界もある。

### WG委員のコメント

- グリーンプリンティングはわかりやすい。どのような**参加企業のインセンティブ**があり、**どのくらい企業の後押しになっているのか**。
- 流通サービスWGでは、製造業に比べると体制が弱く進捗が遅いところがある。**フォローアップに参加するメリットを感じたいとの業界の要請**がある。
- 低炭素社会実行計画は、一つの武器であり、SDGsにつながる**アピールをしたい**。参加証明やロゴマークなどを作成して各会員が産業全体にアピールし、サプライチェーンで考えられるような仕組みづくりをしていきたい。



GREEN PRINTING JFPI  
P-Z10001

印刷業界独自の環境基準であるグリーンプリンティング認定基準に、低炭素社会実行計画参加企業には加点することで優位性を付与。計画への参加を促している。

引用元：日本印刷産業連合会 <https://www.jfpi.or.jp/>